

いずみさの
教 育



問合先
学校教育課

「ともに学び、ともに育つ」ことができる学校をめざして

泉佐野市の支援教育

「ユニバーサルデザイン」という言葉をご存知でしょうか。「ユニバーサルデザイン」とは、障害の有無や年齢、性別などにかかわらず様々な人びとが生活する中で都市や生活環境について、あらかじめ利用しやすいようにデザインするという考え方で、障害者の権利に関する条約第2条において「ユニバーサルデザイン」とは、調整又は特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲で全ての人が使用することのできる製品、環境、計画及びサービスの設計をいう。ユニバーサルデザインは、特定の障害者の集団のための補装具が必要な場合には、これを排除するものではない。」と定義されています。

そして、このユニバーサルデザインの考え方は学校の授業の中にも取り入れられています。特に支援学級では様々なニーズに応えるべく、授業のユニバーサルデザイン化を進めています。例えば、「今日はどんな学習をするのか」ということについて、小さなホワイトボードなどに児童・生徒個人の学習内容を書いておくことで、1時間の学習に見通しをもって取り組むことができます。また、自分が今やることを視覚的に認知することもできます。この他にも、脱いだ靴を揃えるために、床に靴の形を書いたり、学習に集中して取り組めるような机の配置をしたりしています。

さらに、すべての児童・生徒にも効果的であることから、同様の取組を通常の学級での授業の中にも取り入れられつつあります。授業のユニバーサルデザイン化が進めば、「ともに学び、ともに育つ」ことができる学校に、より一層と近づくことになりす。そのためにも各学校と連携した取組に努めてまいります。

学校園紹介



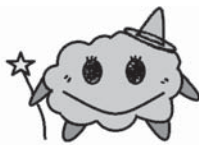
学校訪問
～北中小学校～

2月8日に厚生文教委員会による学校訪問で、泉佐野市議会議員や泉佐野市教育委員会のみなさんが北中小学校に来校されました。

今回の訪問では、外国語の授業の様子を見学したいという希望がありましたので、6年生3クラスがすべて同じ英語の授業をして、自由に参観していただくことにしました。

題材は「What do you want to be?」(あなたのなりたい職業は何ですか?)です。

- なりたい職業を考える
- それぞれの職業を英語で発音できるようにする
- 将来の夢について会話をする
- 職業のカルタゲームをして、楽しく会話をする



これらの事を英語で言えるように、カードを使うなど班で遊びを取り入れて活動しながら、自然に会話を身に付けていく様子を見ていただきました。

英語の発音を聞いて消しゴムを取るゲームでは、写真のように議員さん子どもたちと一緒にチャレンジするという場面もあり盛り上がりしました。

楽しそうに授業を受けている子どもたちを見て、参観していただいた人から「とても良い雰囲気です英語の授業をされていますね、これなら英語が好きな子どもが育成されると思います。」と言っていました。授業が終わった後の説明会では、英語の授業についてはもちろん、本校の特徴的な取組である「ふわふわ言葉」や「セカンドステップ」に対する質問もたくさんいただきました。



北中小学校の日々の活動の様子は、「北中小学校ホームページ」で発信しています。最近、一日のアクセス数が増えてきている事が励みになっています。ぜひ、ご覧ください。

本物で選挙体験 (主権者教育)
～日根野中学校～

昨年6月に公職選挙法が改正され、今夏の参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳に引き下げられる予定です。それに伴って、1月22日に泉佐野市選挙管理委員会の前授業という形で、1年生を対象に初めて主権者教育に取り組みました。

前半はスライドを使って選挙についての基礎知識の学習です。クイズ形式で生徒に考えさせながら選挙の大切さや仕組みを説明してもらいました。AKB総選挙の話なども織り込んで、生徒たちには興味深く、わかりやすかったと思います。後半は選挙体験です。本物の記載台や投票箱、投票用紙や開票道具などを使って、選挙人名簿の確認から本番と同じ方法で投票をしました。立候補者は3学期の学年球技大会の種目としてドッジボール、サッカー、バレーボールをそれぞれ推薦する3人の教員です。立会演説会を行い、その後、特設の投票所で推薦者の氏名を書いて投票箱に入れます。生徒たちは真剣に投票を行っていました。開票の結果、サッカーを推薦する教員(候補者)が僅差で勝利しました。これで3学期の球技大会の種目はサッカーに決まりました。



18歳になれば高校生でも選挙権を有することになります。このような体験学習が、生徒たちが自分の選挙権を大切にする行動につながってくれることを大いに期待しています。

